



 **New Solution Series**

NSK2480

User's Manual

Manuel de l'utilisateur

Anwenderhandbuch

Manuale per l'operatore

Manual del usuario

取扱説明書

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される詳細と若干異なることがありますが、ご使用上の問題はございません。こちらのマニュアルの出版時点では、記載されている詳細、説明は正確な内容になっております。

免責条項

こちらはAntecコンピューターケース専用のマニュアルになっております。マザーボード、周辺機器などの取り付けに関する詳しい情報は、お手持ちの製品に同梱されているマニュアルをご参照ください。

New Solutionシリーズユーザーマニュアル

NSK 2480

静音デスクトップケース

電源

NSK 2480には、EarthWatts 380ワット電源が搭載されています。ユニバーサル入力、アクティブPFC、80mm冷却ファンを1台搭載した、ATX12Vバージョン2.2に準拠した電源が内蔵されています。電源に組み込まれたデュアル+12V出力レールは、より安全で信頼できる出力をシステムコンポーネントに供給し、高いエネルギー効率により最大で25%の電力消費低減し、電気料金の節約も可能にします。EarthWattsは、電源効率の新基準である「80 PLUS®」認証を受けています。更に様々な保護回路がこの電源には搭載されています。：過電圧保護(OVP)、短絡保護(SCP)、電圧不足保護(UVP)、過電力保護(OPP)

この電源には、メイン電源スイッチが搭載されています。初めてコンピュータを起動する前に、必ずスイッチをオン (I) の位置にしてください。電源にソフトオン/オフ機能が備わっているため、通常はスイッチをオフ (O) 位置に切り替える必要はありません。ソフトオン/オフ機能により、コンピュータケースのソフトスイッチを使って、コンピュータのオンとオフを切り替えることができます。コンピュータがクラッシュした場合やソフトスイッチを使ってシャットダウンできない場合は、メインパワーをオフ(O)位置に切り替えて、問題を解決し、再起動することができます。

ケース内の安全性に配慮して鋭い角等に対しては、対策を施してありますが作業をされる際には、十分に時間を取り必要な安全措置をとることをお勧めします。とりわけ見づらい場所への作業等には、むやみに急いだり、不注意な動作をしたり、必要以上に力を加えることはお止めください。予め十分に注意をした上で作業をしてください。

セットアップ

1. 平らで安定した面に、ケースを垂直に置きます。
2. つまみネジをトップパネルの背面から取り外します。パネルをケース後方にスライドさせ、ケースから取り外します。
3. ケースの内側に、電源、マーク入りコネクタ(USB、PWRなど)が付いた配線、および備え付けI/Oパネルと電源コードがあります。

トリプルチャンバー構造

トップパネルを開けると、ケースが電源チャンバー、マザーボードチャンバー、およびHDDチャンバーの3つの個別チャンバーに分割されていることが確認できます。

このトリプルチャンバー構造は各セクションからの熱と騒音を遮断し、これまでのデスクトップケースに比べて、より高い静音性と冷却性能を実現します。

マザーボードの取り付け

このマニュアルはCPU、RAM、または拡張カードの取り付けについては対象としていません。特定の取り付け指示およびトラブルシューティングについては、マザーボードのマニュアルを参照してください。

メインチャンバ内部のCPU取り付け位置横には、120mm TriCoolTMファンが2つ平行に取り付けられています。こちらにマザーボードを取り付けます。

1. 開いている側を上に向けてケースを置きます。ドライブケージと電源が確認できます。
2. お手元のI/Oパネルが、正しくマザーボードに対応することを確認してください。ケースと一緒に提供されるパネルがマザーボードに対応していない場合、正しいI/Oパネルについてマザーボードメーカーにお問い合わせください。
3. マザーボードとスペーサーの穴を合わせて、どの穴が合うのかを覚えておきます。すべてのマザーボードが、設置された穴のすべてを使用するわけではありません。スペーサー用の穴は、一般的な配置になっていますので、機能面では影響がありません。
4. マザーボードを持ち上げて取り外します。
5. 真鍮のスペーサーを、マザーボードに合うネジ穴に取り付けます。スペーサーを締めすぎないでください。一部のスペーサーは、便宜上、事前に取り付けられています。
6. マザーボードを真鍮のスペーサー上に置きます。
7. 付属のプラスネジを使って、マザーボードをスペーサーに取り付けます。
8. これでマザーボードの取り付けが完了しました。

電源とLEDの接続

電源はATX12Vバージョン2.01基準に準拠しています。マザーボードに20ピン電源コンセントがある場合、24ピン電源コネクタ上の4ピンアタッチメントを外します(写真1と2を参照)。電源をいずれかのデバイスに接続する前に、マザーボードやその他の周辺機器に対応するユーザーマニュアルを参照してください。同梱されている電源ケーブル等は、すべてこの製品専用で他の製品との汎用性はありません。

1. 必要に応じて、24ピンメインパワーコネクタおよび4ピンまたは8ピンコネクタをマザーボードに接続します。マザーボードが20ピンコネクタを使用する場合、24ピンパワーコネクタ上の4ピンアタッチメントを外します(写真1と2を参照)。**備考:** 取り外し可能な4ピン部分は、4ピン+12Vコネクタには利用できません。
2. リセットスイッチ(RESET SWのラベル付き)を、マザーボードのRSTコネクタに接続します。ラベルが常にケース前面を向く状態にします。
3. 電源LEDコネクタ(POWER LEDのラベル付き)は、リセットコネクタの後方に配置されています。
4. 電源LEDコネクタは、青と白の配線のモレックスコネクタです。電源のいずれかのモレックスコネクタに接続してください。これにより、電源スイッチの周りにあるLEDがシステム起動時に点灯します。

写真1



写真2



24ピンマザーボード 20ピンマザーボード

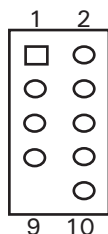
5. ハードドライブLED(H. D. D. LEDのラベル付き)をIDEコネクタに接続します。LEDは、通常、色付のケーブル側がプラス (+) になり、白か黒のケーブルがマイナス (-) になります。システムの電源がオンの際にLEDが点灯しない場合は、極性を変えて接続してみてください。LEDの接続の更に詳しい情報は、マザーボードのマニュアルをご参照ください。

USBの接続

マザーボードに接続するUSB2.0コネクタは、電源、負の信号、正の信号、グランド信号などそれぞれIntelの基準に一致します。USB2.0コネクタをマザーボードに接続する前に、マザーボードに関する適切なユーザーマニュアルでピンレイアウトを参照してください。

備考: USBヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確認してください。このIntel基準に一致しない場合、販売店にご相談ください。

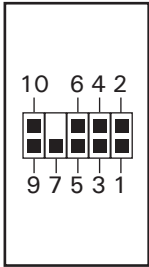
マザーボードピンレイアウト



| ピン | 信号名 | ピン | 信号名 |
|----|----------|----|--------|
| 1 | USB電源1 | 2 | USB電源2 |
| 3 | 負の信号1 | 4 | 負の信号2 |
| 5 | 正の信号1 | 6 | 正の信号2 |
| 7 | 接地1 | 8 | 接地2 |
| 9 | キー(接続なし) | 10 | 空のピン |

オーディオポートの接続 (AC' 97及びHDA)

こちらのケースには、10ピンのAC' 97オーディオのフロントパネルコネクタ及び10ピンのハイディフィニションオーディオ(HDA)が搭載されております。マザーボードの要件に応じて、いずれかの方法によりAC' 97かHDオーディオを接続することができます。お手持ちのマザーボードがIntel標準オンボードAC' 97に対応する場合は、AC' 97コネクタをマザーボードに接続してください。お手持ちのマザーボードがIntel標準ハイディフィニションオーディオに対応している場合は、HADコネクタをマザーボードに接続してください。マザーボード及びサウンドカードの内部オーディオコネクタの位置を確認してください。ピン配置については、マザーボード、ビデオカードのマニュアルをご参照ください。こちらのオーディオ規格は同時使用が不可能ですので、マザーボードの指定するいずれかのオーディオ規格を選択し、接続することでお手持ちのシステムと正しく動作いたします。



| ピン | ピン配置 (HD AUDIO) | ピン | ピン配置 (AC'97 AUDIO) |
|----|--------------------|----|-----------------------|
| 1 | MIC2 L | 1 | MIC In |
| 2 | AGND | 2 | GND |
| 3 | MIC2 R | 3 | MIC Power |
| 4 | AVCC | 4 | NC |
| 5 | FRO-R | 5 | Line Out (R) |
| 6 | MIC2_JD | 6 | Line Out (R) |
| 7 | F_IO_SEN | 7 | NC |
| 8 | Key (no pin) | 8 | Key (no pin) |
| 9 | FRO-L | 9 | Line Out (L) |
| 10 | LINE2_JD | 10 | Line Out (L) |

ハードディスクドライブの取り付け

ハードドライブを2つ格納できるHDDチャンバー内部に、シリコングロメット付きのハードディスクドライブブラケットが1つあります。

1. ブラケット上面のネジ4つを外し、HDDブラケットをチャンバーから取り外します。
2. 付属の特殊ネジを使って、ハードドライブの左側(ハードドライブ正面から見た場合)をドライブブラケットに取り付けます。このとき、ネジは上部シリコングロメットを貫通する状態になります。(写真3参照) **備考:** ネジを締めすぎないでください。ネジを締め付けすぎると、ラバーグロメットによる振動とノイズの低減機能が損なわれます。
3. HDD/ブラケットアセンブリをケース内に戻します。各ハードドライブが、ケースの底に取り付けられている2つのシリコングロメットに載った状態になっていることを確認してください。または別の方法として、ネジを下部グロメットに通して、ハードドライブに取り付けることもできます。こちらは必須ではありません。
4. 付属のネジを使って、ブラケットを固定します。
5. 電源上の4ピンMolexコネクタまたはSATAコネクタを探し、それをデバイス上の電源コネクタに接続します。



写真3

5. 25インチデバイスの取り付け

NSK2480には、電源チャンバー内にラピッドリリースフリップアップ式ドライブケースが装備されており、簡単にドライブを取り付けることができます。このケースは、5.25インチデバイスを2つ格納できます。外部5.25インチデバイスの取り付け方法:

1. フリップアップ式ドライブケースを取り外します。
2. デバイスを取り付けるドライブベイから、ドライブベイカバーを取り外します。

3. 5.25インチデバイスをケージに挿入します。付属のネジを使って、ドライブを固定します。(写真4参照)
4. 電源上の4ピンMolexコネクタまたはSATAコネクタを探し、それをデバイス上の電源コネクタに接続します。



写真 4

120mm TriCool™ファン

NSK 2480には、120mm TriCool™ファンがあらかじめ2つ装備されています。ファンはCPUの真横に搭載されており、空気がケースから吹き出るようになっています。ケースの外側の右側面は、ファンからの排気を妨げないために、少なくとも1インチ(2.5cm)の隙間を空けておいてください。この隙間がない場合、チャンバやCPUが加熱することがあります。

これらのファンには3段変速スイッチが搭載されており、高、中、または低いいずれかを選択できます。(下記の仕様を参照。)電源からの大きな4ピンコネクタを、ファン上の4ピンオスコネクタに接続します。

備考: ファンの初期設定は[低]です。最高の静音コンピュータ環境を実現するには、この速度をお勧めします。

ファンスピードコントローラに関する注記: 通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロールやFan-Onlyコネクタを利用する際は、ファン速度を最大冷却のHighに設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファンの速度を電圧を変化させることで制御を行います。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCoolをMedium(パフォーマンス)あるいはLow(低、静音)に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラですでに減圧された電圧が更にTriCoolの回路にて5V以下になることがあります。

仕様:

サイズ: 120 x 120 x 25.4 mm
 定格電圧: DC 12V
 作動電圧: 10.2V ~ 13.8V

| スピード | 入力電圧 | エアフロー | 静圧 | 音響雑音 | 入力 |
|--------------|------------|--|--|--------|-------|
| 高 2000RPM | 0.24A (最大) | 2.24 m ³ / min (79 CFM) | 2.54 mm-H ₂ O (0.10インチ- H ₂ O) | 30 dBA | 2.9 W |
| 中 1600RPM | 0.2A | 1.59 m ³ / min (56 CFM) | 1.53 mm-H ₂ O (0.06インチ- H ₂ O) | 28 dBA | 2.4 W |
| 低 1200RPM | 0.13A | 1.1 m ³ / min (39 CFM) | 0.92 mm-H ₂ O (0.04インチ- H ₂ O) | 25 dBA | 1.6 W |

下部エアインテーク（吸気）

HDDチャンバー真下のケース底部に吸気口があります。新鮮な冷却気が、通気孔からハードドライブを通してマザーボードに吹き込み、2つの120mm TriCool™ファンにより排気されます。

備考： NSK2480を柔らかい面に置いたり、下部通気孔を塞ぐようなものの上に置いたりしないでください。

上部エアインテーク（吸気）

PCI拡張スロットの上のトップパネルに通気孔があります。もっとも加熱するVGAカードを冷却するため、新鮮な空気がこの通気孔を通してマザーボードチャンバに吹き込みます。

備考： NSK2480の上には、上部通気孔を塞ぐような物を置かないでください。

後部エアインテーク（吸気）

後部I/Oパネルの真上およびPCI拡張スロットカバー上に、新鮮な空気を送ってCPUとVGAカードの冷却効果を上げるための通気孔があります。

CPUエアガイド

CPUエアガイドと後部エアインテークによりCPUクーラーに新鮮な空気が送られ、CPUの冷却効果を高めます。CPUエアガイドは、各マザーボードのCPU位置に最適になるように調整できる、複数のセクションで構成されています。

電源エアインテーク

電源を冷却するための新鮮な空気を電源チャンバーに送り込む通気孔が、ケースの左側にあります。

備考： ケースの外側の左側面は、ファンからの排気を妨げないために、少なくとも1インチ(2.5cm)の隙間を空けておいてください。この隙間がない場合、チャンバやCPUが加熱することがあります。

80 PLUS®について：

80 PLUS®は、電力会社による斬新な利用料優遇プログラムであり、より効率性の高い電源をデスクトップ、サーバに推奨するものです。

80 PLUSによる仕様パフォーマンスの要件は、コンピューター、サーバー内の電源が80%以上の効率性であることが条件となっています。これにより、80 PLUS認証を受ける電源は、通常の電源よりも効率性が最低で33%以上高いこととなります。

80 PLUS認証電源は：

- ・ デスクトップコンピューターの寿命まで、最大で\$70(USD)の電気代節約が可能です。
- ・ 室内の冷房負荷を減少させ、室内の快適性を高め、最大で30%の空調費用節約が可能です。
- ・ コンピューターシステムの信頼性を高め、メンテナンスに必要な費用を40%まで節約できます。
- ・ ファン使用の必要性を最小限に抑え、更に静かな環境を提供します。
- ・ 電力工事の費用も削減します。 - 電力事業においても貢献します。
- ・ 同一の事業所において、更に多くのコンピューターの使用を可能にします。
- ・ 電力の無駄を削減し、汚染を防止し、環境を守ります。

Run Cool, Run Reliably, Run with 80 PLUS® Energy Efficient®

負荷20%、50%、100%にて80%以上の効率性を維持

www.80PLUS.org

SI / VARの 80 PLUS®に関するファイナンシャル及びマーケティングアドバンテージ情報は、www.antec.com/us/80Plus.htmlにてご確認ください。

Antec, Inc.

47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
USA
tel: 510-770-1200
fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.

Stuttgartstraat 12
3047 AS Rotterdam
The Netherlands
tel: + 31 (0) 10 462-2060
fax: + 31 (0) 10 437-1752

Customer Support:

US & Canada

1-800-22ANTEC
customersupport@antec.com

Europe

+ 31 (0) 10 462-2060
europe.techsupport@antec.com

www.antec.com